

備前市事務事業評価表

事務事業名	簡易給水施設管理運営事業		コード	01-01-09-05
			担当課・係	水道工務課・水道営業課
			担当者	米本誠吾
			電話	0869-66-9792
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	上水道及び簡易水道		

事業について	
目的 (何のために)	山村振興地域の簡易給水施設の維持管理により、地区の飲料水の衛生的かつ安定的供給を図り、日常生活水準の向上に資するための確保、安全性を維持する。
対象 (誰・何を対象に)	八塔寺・榎・和意谷・大藤上・大藤下・牛中地区簡易給水施設の利用者
内容	衛生的な飲料水を供給するために定期的に水質検査等を行い、また、湯水等に対応して安定供給を行うために、施設の維持管理を実施する。

事業の結果						
実施項目	17年度		18年度		回数など(単位)	
	回数	など(単位)	回数	など(単位)	回数	など(単位)
給水人口	133	人	124	人		
年間給水量	12,636	m ³	11,342	m ³		
水質検査	12	回	12	回		
修繕・施設工事	8	件	8	件		
補給回数	2	回	0	回		
事業費 (単位：千円)	事業費		事業費		事業費	
	直接事業費	6,894	間接事業費	9,386	直接事業費	0
	人件費	2,510	受益者負担	2,891	受益者負担	1,988
	合計	9,404	財源	12,277	財源	10,289
必要人員	0.35	人	0.34	人		

結果指標①	結果指標名	給水量	12,636	結果指標名	給水量	11,342
	単位	m ³		m ³		
	対前年比	-	89.76%	0.00%		
	活動にかかるコスト	9,403,819	円	12,277,608	円	
単位当たりコスト①	744	円	1,082	円		
結果指標②	結果指標名	修繕・施設工事	8	結果指標名	修繕・施設工事	8
	単位	件		件		
	対前年比	-	100.00%	0.00%		
	活動にかかるコスト	1,385,475	円	4,963,350	円	
単位当たりコスト②	173,184	円	620,418	円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	安定的かつ効率的な水の供給をおこない地域住民の日常生活水準の向上		
成果指標名	豊富な水の供給度	式又は説明	$\frac{\text{簡易給水施設1人1日平均給水量} - \text{年間給水量} / 365日}{\text{給水人口}} \times 100$ 上水道1人1日平均給水量
成果指標量	17年度	56	18年度
	対前年比	-	101.79%
到達目標値	60	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市簡易給水施設設置及び給水に関する条例	妥当性評価<A~E> 課題認識 A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	日常生活に密接し、欠かすことのできない水を安定供給し生活水準向上に關与することは重要である。運営面において、合併前に地元地区で管理していたものを市で引継いでいるため、改善できる点があると思われる。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> 課題認識 C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	施設の老朽化により、費用は増加傾向にあるが、飲料水を衛生的かつ安定して供給するという施設の目的を考えれば、最低限の施設改良は必要ならなければならない。これまで、行政が管理していなかった事業であり、施設の運営・管理については検討する必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> 課題認識 C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	山村地域ということ考えれば、上水道事業と単純に比較することは難しいが、安心して安全な水の安定供給をおこなうには、清浄、豊富な飲料水を供給することが必要となる。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明 昨年同様に事業目的に準じ、安心した水の供給に努めている。また、合併時の料金格差是正のための料金改定を検討している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 12,000	結果指標量② 8
	成果指標量 60	

総合評価	山村地域における衛生的な水の安定供給をおこない日常生活水準の向上を目指すためには、可能な限りの経費の投入は必要であるとする。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	統合可能な施設どうしを統合する	平成24年度	維持管理費用の軽減、及び湯水時等における施設間の融通性の向上	